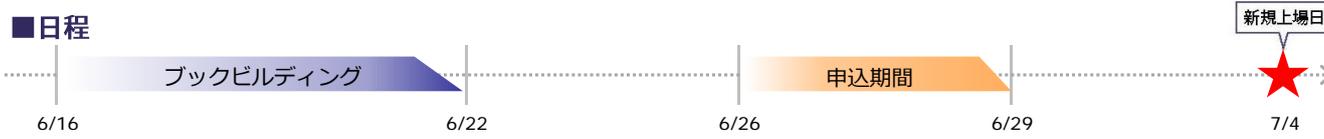


IPO銘柄 **AeroEdge** (7409・グロース)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件（上限PER）	主幹事証券
7409	100株	公募：36.80万株 売出：43.16万株（OA11.99万株）	1,460円～1,690円 (8.8倍)	みずほ証券



次世代航空機エンジン向けチタンアルミブレードが主力

■事業内容

エアバス、ボーイング製航空機のLEAPエンジン部品である、チタンアルミブレードが主力。チタンアルミブレードは航空機エンジンの低圧タービンを構成しており、低圧タービンブレードはその回転で推進力を生み出すファンを回転させる重要な構成部品。同社製チタンアルミブレードが搭載されるLEAPエンジンは、米GEと仏SAFRANの合弁企業であるCFM Internationalで開発生産された、先端技術を搭載したエンジン。航空機グローバルシェアナンバー1のエアバスのA320neo、ナンバー2のボーイング737Maxに搭載されている。SAFRANとの取引契約でLEAPエンジンのチタンアルミブレードの35%を供給している。加工事業の単一セグメント。

■特徴

LEAPエンジンは、先端の技術を搭載することで従来機種より消費燃料とCO2排出量の15%削減を実現したエンジンで、チタンアルミブレードはLEAPエンジンに導入された新たな技術要素のうちの1つ。ここで培った加工技術や量産技術をベースにその他の部品の加工販売を行うとともに、新材料の開発や積層造形技術の開発を推進。航空機エンジンのグローバル大手メーカーであるSAFRANとの間で、日本の中小企業としては初の直接取引契約を締結。中小型機向け次世代航空機エンジンであるLEAP向けチタンアルミ製低圧タービンブレードの量産供給を実現した。この取引契約締結を受けて栃木県足利市で創業80年を超える菊地歯車から2015年9月にスピアウトし、設立された経緯がある。

アナリストコメント

■定量分析

23年6月期の非連結経常利益は5億5,100万円を計画する。前期実績は1,000万円だった。航空業界は、新型コロナウイルスの影響を大きく受けて低迷していたが、世界的な移動制限の緩和などを背景に回復。同社業績も連動した推移となっている。

■定性分析

ニッチ分野に特化した技術系企業であり、明確な類似上場企業が存在しない。航空機業界はコロナ後の需要回復に沸いており、業績面への期待がある。仮条件の上限が想定発行価格から16%程度引き上げられるなど、事前の評価が高まっている。

■需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は15億円程度。グロース市場に上場する案件としては特段の軽量感はないものの、事前の評価の高まりを考慮すれば軽く吸収できる規模とみる。既存株主のほとんどにロックアップ条項が付されている。（小泉 健太）

■類似企業

AeroEdge (7409・グロース)	予想PER 8.8倍 (仮条件上限)
ジャムコ(7408・プライム)	予想PER 16.2倍
IHI(7013・プライム)	予想PER 12.0倍

■引受証券

みずほ証券、野村證券、大和証券、SBI証券、楽天証券、マネックス証券、水戸証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常損益 (百万円)	前年比 (%)	最終損益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
21年6月期(実績)	848	▲59.8	-757	赤拵	-766	赤拵	-229.8	0.00
22年6月期(実績)	1,964	2.3倍	10	黒転	7	黒転	2.2	0.00
23年6月期(会社予想)	2,903	47.8	551	51.2倍	639	87.3倍	191.8	0.00

※23年3月に株式分割（1株→10株）を実施。21年6月期および22年6月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
21年6月期	333,423	5,221	982	100	293.5	18.7	—
22年6月期	333,423	5,358	955	100	285.1	17.7	0.8

※21年6月期および22年6月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	菊地歯車(株)	958,530	24.41
2	森西 淳	800,000	20.38
3	豊田通商(株)	460,000	11.72
4	(株)日本政策投資銀行	430,000	10.95
5	DMG森精機(株)	400,000	10.19
6	ナイン・ステーツ・4投資事業 有限責任組合	285,710	7.28
7	水田 和裕	130,000	3.31
8	今西 貴士	105,000	2.67
9	(株)足利銀行	57,140	1.46
9	めぶき地域創生投資事業有 限責任組合	57,140	1.46
9	三菱HCキャピタル(株)	57,140	1.46

経営陣

役職	氏名
代表取締役社長 兼 執行役員CEO	森西 淳
取締役 兼 執行役員COO/CTO	水田 和裕
取締役 兼 執行役員CFOコーポ レート本部長	今西 貴士
取締役	安藤 尚
常勤監査役	岡村 久雄
監査役	谷津 範之
監査役	長壁 優子

ウェルスアドバイザーIPOレポートの読み方

特徴

ウェルスアドバイザーIPO（※1）レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、ウェルスアドバイザーが位置する中立的な第三者としての立場からIPOに関する情報を提供いたします。ブックビルディング（※2）が始まる前にレポートを提供することにより、IPOへの参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。ウェルスアドバイザーIPOレポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間などIPO日程のほか、ウェルスアドバイザーの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

- ※1 IPO (Initial Public Offering) : 新規株式公開。
- ※2 ブックビルディング: 引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げてPERを併記いたします。PERの水準は初値の参考指標として有効です。

本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、ウエルスアドバイザー株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はウエルスアドバイザー株式会社に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・SBI証券が保有する株式等や主幹事担当会社の重要な開示事項（利益相反関係等）についてはSBI証券WEBサイト（http://search.sbisec.co.jp/v2/popwin/info/home/pop690_kajji.html）をご確認ください。または、カスタマーサービスセンター（0120-104-214（携帯電話・PHSからは03-5562-7530））までお問い合わせください。
- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社SBI証券 金融商品取引業者 登録番号：関東財務局長（金商）第44号 加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
